



一般社団法人日本遠隔医療学会

2021（令和3）年度（第11期）定時総会 議案書

第1号議案	令和2年度(第10期) 事業報告
第2号議案	令和2年度(第10期) 決算・監査報告
第3号議案	令和3年度(第11期) 事業計画
第4号議案	令和3年度(第11期) 予算
第5号議案	理事選任の件

開催形式 定款第21条により、電磁的手段による開催
(ZOOMによるオンライン会議)
開催期日 2021年6月26日(土) 13:30~15:00

*** 関連日程 ***

理事会 電磁的手段 (ZOOMによるオンライン会議)
6月26日(土) 15:00~15:30

第1号議案 2020（令和2年）度（第10期）事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌の発行

(1) 発行実績

令和2年度は3冊の日本遠隔医療学会雑誌第16巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第16巻1号 令和2年6月 640部

日本遠隔医療学会雑誌 第16巻2号 令和2年12月 700部（大会使用分50部含む）

日本遠隔医療学会雑誌 第16巻補刊号※ 令和3年4月 650部

※補刊号には、以下の発表抄録を収載した。

①JTTA2020 TAKASAKI B演題抄録 ②JTTA スプリングカンファレンス2020抄録

(2) 編集委員会

編集委員会の名簿は以下のとおり。

委員長 森田 浩之 岐阜大学

委員 大山 太 東海大学

木ノ内 玲子 旭川医科大学

酒巻 哲夫 高崎市医師会看護専門学校

鈴木 亮二 高崎健康福祉大学

東福寺 幾夫 高崎健康福祉大学

長谷川 高志 群馬大学

山田 桃子 NPO法人 medical-e.net

2. 第24回日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2020 TAKASAKI および

25th ISfTeH International Conference の合同開催

新型コロナウイルスパンデミックのため、オンライン・オンデマンド方式に変更し開催した。

（当初予定 2020年10月8日（木）～10日（土）、Gメッセ群馬）

公開期間 令和3（2020）年2月11日（木）～2月25日（木）

大会長 郡 隆之 利根中央病院

テーマ 遠隔医療：時空を超える絆

Connecting people with telemedicine

※実施報告書は本会雑誌17巻1号に掲載した。

3. JTTA Spring Conference 2021 の開催

新型コロナウイルスパンデミックのため、オンライン・オンデマンド方式に変更し、学術大会と合同開催した。抄録集も、第24回日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2020 TAKASAKI および 25th ISfTeH International Conference 抄録集と合冊とした。

公開期間 令和3（2020）年2月11日（木）～2月25日（木）

※実施報告書は本会雑誌17巻1号に掲載した。

II 委員会・分科会および社会貢献活動

1. 社会保険委員会

内保連（一般社団法人内科系学会社会保険連合）に長谷川高志（常務理事・社会保険委員長）が内保連・遠隔医療関連委員会・副委員長として活動した。詳細報告は、学会雑誌 17 巻 1 号に掲載した。

2. 普及委員会

JTTA Spring Conference 2021 を主催した。

3. 禁煙推進学術ネットワークへの加盟、委員派遣

令和 2 年 5 月に禁煙学術ネットワークに加盟申請、加盟が承認された。

これに関連し、「日本遠隔医療学会禁煙宣言」を 2020 年 6 月の運営会議にて承認した。なお、「禁煙宣言」は、本会ホームページに掲載した。

4. 厚生労働省遠隔医療従事者研修事業

(1) 事業応募

特定非営利活動法人日本遠隔医療協会を応募団体として、本会を主催団体として、令和元年度遠隔医療従事者研修事業に応募し、受託した。

(2) 事業実施計画と実施状況

以下の如く 3 回、オンライン方式で開催した。詳細は、学会雑誌 17 巻 1 号に掲載した。

開催日、回	講演項目	演者	演者所属
第 1 回 2 月 21 日 (日)	医療 ICT? 遠隔医療??	本間聡起	JCHO 埼玉メディカルセンター
	オンライン診療の実施、受診は?	黒木春郎	外房こどもクリニック
	あの人に聞こう、エキスパート対談、難病患者のオンライン診療	山野嘉久	聖マリアンナ医科大学
		江口幸二	下垂体患者の会
酒巻哲夫	日本遠隔医療協会		
第 2 回 2 月 28 日 (日)	医療 ICT? 遠隔医療??	吉崎 歩	東京大学
	オンライン診療の実施、受診は?	田村秀子	田村秀子婦人科医院
	あの人に聞こう、エキスパート対談、	山口育子	認定 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML
		患者視点での、オンライン診療の利点と限界、これからの使い方	森田浩之
第 3 回 3 月 7 日 (日)	医療 ICT? 遠隔医療??	鈴木亮二	高崎健康福祉大学
	オンライン診療の実施、受診は?	大林克巳	大林クリニック
	あの人に聞こう、エキスパート対談、オンライン診療のへき地や離島への展開	原田昌範	山口県立山口医療センター
		長谷川高志	日本遠隔医療協会

5. 分科会の活動

以下の20の分科会が存在する。なお、○番号分科会の活動報告は学会雑誌第17巻1号に掲載した。

No.	分科会名	英文名称	分科会長	分科会長所属先
①	国際医療分科会	SIG Video Remote Medical Interpreting	瀧澤 清美	NPO 法人地域診療情報連携協議会
②	在宅見守り支援分科会	SIG Home Telecare	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学
③	周産期医療分科会	SIG Perinatal Telemedicine	小笠原 敏浩	岩手県立二戸病院
④	睡眠遠隔医療分科会	SIG Sleep Telemedicine	吉嶺 裕之	医療法人愛仁会 太田睡眠科学センター
⑤	オンラインバイタルモニタリング分科会	SIG Guidelines for Telemonitoring Devices from Patient's Home	中村 昭則	NHO まつもと医療センター
⑥	精神科遠隔医療分科会	SIG Telepsychiatry	岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
7	遠隔医療モデル研究分科会	SIG Telemedicine Model	加藤 浩晃	京都府立医科大学眼科学教室
⑧	市民に遠隔医療をやさしく学んでもらう分科会	SIG Telemedicine Education for Citizens	大木 里美	遠隔医療をとことん考える会
⑨	歯科遠隔医療分科会	SIG Teledentistry	長縄 拓哉	デジタルハリウッド大学大学院
⑩	デジタル療法分科会	SIG Digital Therapeutics / Digital Therapy	佐竹 晃太	日本赤十字社医療センター／CureApp Institute
⑪	皮膚科遠隔医療分科会	SIG Teledermatology	吉崎 歩	東京大学大学院 医学系研究科・医学部 皮膚科学
⑫	循環器における在宅医療分科会		笠原 真悟	岡山大学 心臓血管外科
⑬	遠隔ICU分科会	Tele-ICU subcommittee	高木 俊介	横浜市立大学附属病院 集中治療部
⑭	オンライン診療分科会	Spical Inerest Group of Online medicine	黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック
⑮	遠隔医療法務分科会	SIG Telemedicine Legal	伊藤 寛之	弁護士法人MIA法律事務所
⑯	遠隔医療基盤検討分科会	SIG Infrastructure of telemedicine	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部
17	へき地遠隔医療分科会	SIG Rural Telemedicine	原田 昌範	山口県立総合医療センターへき地医療支援センター
⑰	オンライン服薬指導分科会	SIG Online Medication Instruction	狭間 研至	ファルメディコ株式会社
⑱	難病患者へのオンライン診療普及を目指す分科会		江口 幸仁	下垂体患者の会
20	テレナーシング分科会	Telenursing Special Interest Group	亀井 智子	聖路加国際大学大学院看護学研究科

Ⅲ 国際交流活動

1. ISfTeH メンバーシップの維持

2020 年度に引続き、2021 年度の National Member の継続手続きを行い、Member Ship を維持した。

2. ISfTeH Board Member

2020 年に実施された ISfTeH Board Member 選挙に、本会から近藤博史会長が立候補し、当選した。
現時点における Board member は以下の通り。

President



Dr. Andy Fischer
Switzerland
[Member Profile](#)

Vice President



Dr. Pirikko Kouri
Finland
[Member Profile](#)

Secretary/Treasurer



Dr. Neil Nerwich
Australia
[Member Profile](#)

Co-Opted Members



Eric Bacon
USA
[Member Profile](#)



Claudia Bartz
USA
[Member Profile](#)



Rajendra Pratap Gupta
India
[Member Profile](#)



Dr. Osama
Elhassan
UAE
[Member Profile](#)



Dr. Michele Griffith
USA
[Member Profile](#)



Prof. Hiroshi
Kondoh
Japan
[Member Profile](#)

Management Board

Executive Director



Prof. Yunkap Kwankam
Switzerland
[Member Profile](#)



Dr. Alexandru
Mischie
France
[Member Profile](#)



Assoc. Prof. Piotr
Skarzynski
Poland
[Member Profile](#)



Prof. Karl
Stroetmann
Germany
[Member Profile](#)

Vice Executive Director



Frederic Lievens
Belgium
[Member Profile](#)

Executive Secretary



Frank Lievens
Belgium
[Member Profile](#)

JISfTeH Management



Prof. Maurice Mars
South Africa
[Member Profile](#)

Director, ISfTeH Education Program



Dr. Jefferson Fernandes
Brazil

Coordinator, ISfTeH Student Membership



Dr. Adolfo Sparenberg
Brazil

Ⅲ 学会組織の運営

1. 役員、幹事会員および運営会議議員名簿

令和2(2020)年度の役員、幹事会員、運営会議議員名簿は以下の通り。

役職	氏名	所属
代表理事・会長	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院医療情報部
理事・副会長	森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野
専務理事・事務局長	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
常務理事	長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会
理事	岡田 宏基	香川大学医学部医学教育学講座
理事	郡 隆之	利根中央病院
理事	坂田 信裕	獨協医科大学医学部基本医学情報教育部門
理事	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
理事	武藤 真祐	医療法人社団鉄祐会
理事	山田 桃子	NPO 法人 medical-e.net
監事	吉井 宏文	吉井宏文税理士行政書士事務所
名誉会長	原 量宏	香川大学
名誉理事	酒巻 哲夫	高崎市医師会看護専門学校尾
名誉理事	吉田 晃敏	旭川医科大学
幹事会員	石子 智士	旭川医科大学医工連携総研講座
幹事会員	太田 隆正	太田病院
幹事会員	大山 太	東海大学医学部看護学科
幹事会員	笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
幹事会員	加藤 浩晃	京都府立医科大学
幹事会員	岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
幹事会員	黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会外房こどもクリニック
幹事会員	清水 周次	九州大学病院国際医療部
幹事会員	鈴木 孝昭	弁護士法人 AIT 医療総合法律事務所
幹事会員	廣川 博之	旭川医科大学附属病院経営企画部
幹事会員	福島 明宗	岩手医科大学医学部臨床遺伝学科
幹事会員	本多 正幸	長崎大学名誉教授
幹事会員	森 一郎	国際医療福祉大学医学部病理学
JTTA2019 大会長	小笠原 敏浩	岩手県立大船渡病院
国際交流委員長	樽松 八平	認定 NPO 法人 BHN テレコム支援協議会
	荒木 玲子	(有) 柴崎薬局 ファーマシーはとり薬局
	尾形 優子	メロディーインターナショナル(株)
	亀井 智子	聖路加国際大学

	佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ/日赤医療センター
	三瓶 宏一	NPO 法人 インド福祉村協会
	島田 祥士	医療法人民善会細谷クリニック 脳神経外科
	高木 俊介	横浜市立大学付属病院 集中治療部
	高橋 裕子	京都大学 日本禁煙科学会
	中村 昭則	NHO まつもと医療センター
	本間 聡起	埼玉メディカルセンター
	松本 浩樹	前橋工科大学
	村上 礼子	自治医科大学看護学部 日本ルーラルナース学会
	吉崎 歩	東京大学大学院 医学系研究科・医学部 皮膚科学
	吉嶺 裕之	社会医療法人春回会 井上病院

2. 総会の開催

令和2年度定時総会は、COVID-19 蔓延のため対面方式は取りやめ、以下のように開催した。

(1) 方式 定款第 21. 条による電磁的手段による会議（電子メールによる審議）

(2) 期日 令和2（2020）年 6 月 12 日～6 月 18 日 17:00

(3) 議案書 メール添付にて送付

第 1 号議案 令和元年度事業報告

第 2 号議案 令和元年度会計報告および監査報告

第 3 号議案 令和 2 年度事業計画

第 4 号議案 令和 2 年度予算

第 5 号議案 定款の改定（会費の変更）

定款第 67 条に定める会費を以下のように変更する

正会員	8,000 円	⇒	10,000 円
幹事会員	12,000 円	⇒	15,000 円
購読会員	8,000 円	⇒	10,000 円
学生会員	変更せず（4,000 円）		
賛助会員	一口 10,000 円 3 口以上	⇒	5 口以上

実施の期日は令和 3（2021）年 4 月 1 日からとする。は以下のごとく開催した。

(4) 審議参加状況（電子メールによる投票）

参加幹事会員数 24 人

不参加幹事会員数 1 人

(5) 審議結果

参加者全員が、全議案に賛成投票を行い、全議案が賛成多数で承認された。

3. 理事会の開催

理事会は以下のとおり 3 回開催した。

【第 1 回理事会】 通信による審議

審議期間 2020年6月5日(金)～同年6月9日(火)

審議事項 (1)2020年度定時総会の開催方式について
(2)会費の改定について
(3)2020年度定時総会議案書について
(4)新入会員の承認について

【第2回理事会】 通信による審議

審議期間 2020年7月18日(土)～同年7月22日(火)

審議事項 (1) ISfTeH Board Member 選挙への立候補について
(2) 新入会員の承認

【第3回理事会】 通信による審議

審議期間 2021年3月24日(火)～同年3月26日(木)

審議事項 (1)理事会推薦幹事会員の指名基準について
(2)理事会推薦幹事会員の指名について
(3)2021年幹事会員選挙日程について

4. 運営会議の開催

運営会議は、以下のとおり3回開催した。

【第1回運営会議】 通信による審議

審議期間 2020年6月30日(火)～同年7月3日(金)

審議事項 (1)2020年度学術大会(JTTA2020)等の開催方法・開催時期の変更について
(2)Spring Conference 2021の開催について
(3)禁煙推進学術ネットワークへの加盟について

報告事項 (1)定時総会の結果について

(2)編集委員会から

(3)来年度以降の学術大会について

(4)令和元年度委員会・分科会活動報告について

(5)新型コロナウイルス感染症予防に関連したオンライン診療の取り扱いについて

(6)分科会の活動予定について

(7)外部団体からの委員派遣依頼への対応について

【第2回運営会議】 通信(ZOOM)によるオンライン開催

開催日 令和2年12月12日(土)14:30～16:30

報告事項 (1)会長挨拶

(2)近藤会長のISfTeH役員就任について

(3)医療ヘルスケアISACと日本遠隔医療学会としての対応について

(4)JTTA2020準備状況について

(5)SC2021準備状況について

- (6) JTTA2021 準備状況について
- (7) JTTA2022 準備状況について
- (8) 編集委員会から
- (9) 内保連の活動状況について
- (10) 禁煙推進学術ネットワーク活動状況について
- (11) 厚生労働省遠隔医療従事者研修事業について
- (12) 中央官庁の政策動向について
- (13) 分科会設立申請を承認(審議事項)
へきち遠隔医療分科会設立を承認(分科会長 原田昌範)
- (14) 本会の会員状況・財務会計状況について
- (15) 2021 年度幹事会員選挙について
- (16) 日本医療情報学会春季学術大会・米子開催について
- (17) 日本医学会連合オンライン診療 GL について
- (18) 今後の日程について

【第3回運営会議】

- 通信 (ZOOM) によるオンライン開催
- 開催日 2020 年 2 月 14 日 (日) 10:00~12:00
- 開会挨拶 近藤会長
- 審議・報告事項
- (1) JTTA2020/25th ISfTeH International Conference 開催について
 - (2) SC2021 開催について
 - (3) JTTA2021 準備状況について
 - (4) JTTA2022 準備状況について
 - (5) JTTA2023 準備状況について
 - (6) 内保連における活動状況について
 - (7) 編集委員会 学会雑誌 16 巻補刊号刊行予定報告
 - (8) 編集委員会 委員会・分科会活動報告の提出依頼
 - (9) 分科会設立申請を承認(審議事項)
難病患者へのオンライン診療普及を目指す分科会(分科会長 江口幸仁)
Telenursing 分科会(分科会長 亀井智子)
 - (10) 日本医療情報学会春季学術大会(米子開催)について
 - (11) 選挙及び今後の日程について
 - (12) 遠隔医療従事者研修について

5. 会員の状況

- (1) 令和2年3月31日現在会員数(全員が2020年度会費を納入したわけではない)
- 正会員 685 人(前年度末は 612 人) 25 人の幹事会員を含む。
 - 学生会員 43 人(前年度末 38 人)
 - 購読会員 7 人(前年度末 7 人)
 - 賛助会員 17 社(前年度末 17 社)

(2) 令和2年度新規入会者

正会員	110人（前年度106人）
学生会員	10人（前年度13人）
購読会員	0人（前年度1人）
賛助会員	1社（前年度3社）

(3) 令和2年度退会者

本人意思	41人（前年度37人）
3年会費滞納	22人（前年度18人）
逝去	1人

6. ホームページの運用

日本語及び英語のホームページを運用した。英語のページについては更新ができておらず、今後運用の改善が必要である。

日本語ページ URL <http://jtta.umin.jp/index.php>

英語ページ URL <http://jtta.umin.jp/eng/index.php>

トップページのお知らせは、28回掲載・更新した。また、学術大会 JTTA2020 のバナーをトップページに掲載し、大会サイトアクセスの便宜を提供した。Spring Conference については、専用ページを作成し、トップページには入り口となるバナーを配置し、情報提供、演題募集、参加登録の便宜を提供した。

以上。

第2号議案 令和元年度（第9期）決算報告

1. 貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
(流動資産合計)	(9,960,829)	(流動負債合計)	(641,500)
普通預金	6,415,575	未払金	621,500
定額貯金	400,000	前受会費	8,000
学会誌バックナンバー	1,126,144	仮受金	12,000
貸付金	2,000,000		
備品費	19,110	負債合計合計	641,500
		資本の部	
		前期繰越正味財産	8,484,012
		当期正味財産増加額	835,317
資産合計合計	9,960,829	負債及び正味財産合計合計	9,960,829

2. 財産目録

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
(流動資産合計)	(9,960,829)	(流動負債合計)	(641,500)
郵貯銀行 普通口座ぱるる	1,623,286	未払金	621,500
郵貯銀行 振替口座	377,566	前受会費	8,000
群銀 高崎	148,513	仮受金	12,000
群銀高崎栄町1	608,169		
Pay Pal	7,632	負債合計合計	641,500
群銀高崎栄町2	3,650,409	資本の部	
定額貯金	400,000	前期繰越正味財産	8,484,012
貸付金	2,000,000	当期正味財産増加額	835,317
学会誌バックナンバー	1,126,144	負債及び正味財産合計合計	9,960,829
備品費	19,110		
資産合計合計	9,960,829	負債及び正味財産合計合計	9,960,829

3. 収支報告書

一般社団法人 日本遠隔医療学会

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

収 支 報 告 書

科 目	金 額	円
【会 費 収 入】		
幹事会員会費収入	296,000	
正会員会費収入	4,016,000	
学生会員会費収入	88,000	
購読会員会費収入	32,000	
賛助会員会費収入	540,000	
過年度会員会費収入	480,000	5,452,000
【学会誌事業収入】		
JTTA論文掲載料	200,000	
学会誌バックナンバー販売	57,000	
著作権使用料	1,925	258,925
【そ の 他 収 入】		
受 取 利 息	55	55
経常収入合計		(5,710,980)
【事 業 費】		
SpringConference開催費	1,195,850	
委員会活動費	408,100	
分科会活動助成金	27,221	
広報活動費	114,400	
会 議 費	88,000	
機関誌印刷費	1,570,520	
内保連年会費	200,000	
禁煙推進学術ネットワーク	100,000	
IS f TeH年会費	54,208	3,758,299
【管 理 費】		
事務局業務委託費	35,200	
運 搬 通 信 費	351,719	
手 数 料	10,708	
消 耗 品 費	255,163	
税 理 士 報 酬	330,000	
雑 費	27,600	1,010,390
経常支出合計		(4,768,689)
経常収支差額		(942,291)
その他資金支出合計		(106,974)
バックナンバー廃棄損	106,974	
当期正味財産増加額		(835,317)
当期正味財産合計		(9,319,329)

4. 監査報告書

監査報告書

私は、令和3年6月7日、役員より提出された令和2年分事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について総勘定元帳ならびに証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、適正に処理されていると認められたのでここに報告します。

令和3年6月7日

一般社団法人 日本遠隔医療学会

監 事

吉井 宏文 

第3号議案 2021（令和3）年度（第11期）事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌	17巻1号	2021年6月発行	650部程度
日本遠隔医療学会雑誌	17巻2号	2021年12月発行	650部程度
日本遠隔医療学会雑誌	17巻補刊号	2022年3月発行	650部程度

(2) 学術集会開催

第25回日本遠隔医療学会学術大会（JTТА2021 GIFU）

大会長	森田 浩之（岐阜大学）
副大会長	矢部 大介（岐阜大学）
実行委員長	中島 英太郎（中部ろうさい病院）
プログラム委員長	森 一郎（岐阜大学）
会期	2021（令和3）年10月9日（土）-10日（日）
会場	じゅうろくプラザ（JR岐阜駅前）

JTTA Spring Conference 2022

会期	2022年2月5日（土）-6日（日）
会場	全国家電会館（東京都文京区湯島）

(3) 学術大会開催準備

第26回日本遠隔医療学会学術大会（JTТА2022）

大会長	本間 聡起（埼玉メディカルセンター）
開催日	2022年10月28、29日
会場	さいたま市浦和・埼玉会館

第27回日本遠隔医療学会学術大会（JTТА2023）

大会長	児玉 直樹（新潟医療福祉大学）
開催日	2023年11月11、12日
会場	新潟市・朱鷺メッセ

第28回日本遠隔医療学会学術大会（JTТА2024）

大会長と開催地を今年度中に決定する。

2. 委員会・分科会および社会貢献活動

(1) 委員会

各委員会の活動方針と計画に従い、着実に活動を展開する。

(2) 分科会

各分科会の活動が滞りなく進行するよう、適切な支援を実施する。

(3) 社会貢献活動

関連団体と連携し、社会の要請に対応する。

3. 国際交流・広報活動

(1) ISfTeH

ISfTeH のメンバーシップを維持・継続する。また、近藤博史氏の役員活動を支援する。

(2) ホームページのリニューアルと運用

ホームページを使いやすく改造し、英語ページの運用を定着させる。

(3) 各方面からの問合せへの対応

報道機関その他の問い合わせに、タイムリーに対応する。

4. 政策支援活動

内保連・禁煙推進学術ネットワークと連携して、医療保険制度に関わる活動を展開する。

5. 組織運営体制の再構築と運営

(1) 理事会選任幹事会員 (2021年3月理事会決定)

小笠原敏浩 (岩手県立二戸病院)	JTTA2019 大会長
近藤博史 (鳥取大学)	JTTA2016 大会長・ISfTeH 理事・会長
坂田信裕 (獨協医科大学)	JTTA2017 大会長・理事
清水周次 (九州大学)	JTTA2018 大会長
山田桃子 (NPO 法人 medical-e.net)	編集委員・理事

(2) 幹事会員選挙 正会員による幹事会員の選出 (2021年幹事会員選挙)

当落	候補者氏名	所属
当選	原田 昌範	山口県立総合医療センター
当選	高木 俊介	横浜市立大学附属病院
当選	本間 聡起	埼玉メディカルセンター
当選	森山 智彦	九州大学病院 国際医療部
当選	佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ
当選	真原 仁	千葉大学医学部附属病院
当選	野村 章洋	金沢大学附属病院
当選	中村 昭則	信州大学病院神経内科
当選	米澤 麻子	株式会社 NTT データ経営研究所
当選	芦原 貴司	滋賀医科大学
補欠1位	吉崎 歩	東京大学大学院
補欠2位	大林 克巳	大林クリニック

(3) 総会

定時総会	2021年6月26日	ZOOMによるオンライン開催
------	------------	----------------

(3) 理事会

第1回理事会 (旧理事)	2021年6月	メール審議による開催
第2回理事会 (新理事)	2021年6月26日	ZOOMによるオンライン開催
第3回理事会	2022年2月	SC20222 会場

(4) 運営会議

第1回運営会議	2021年6月	メール審議による開催
第2回運営会議	2021年10月	JTTA2021会場
第3回運営会議	2020年12月	東京またはメール審議による開催
第4回運営会議	2021年2月	SC2022会場

(5) 事務局

- ・財務・会計 健全・正確な財務会計を運営、会費・掲載料の適正な収納。
- ・会員管理 正確な名簿の維持、会員サービスの適時提供。
- ・ホームページ タイムリーで正確な情報発信。英語発信力向上を目指した運用再検討。
- ・役員、委員会、分科会活動、市民活動の適切な支援
- ・ISfTeH 窓口業務の遂行とメンバーシップの更新
- ・その他 会の運営維持に関わる事項を遅滞なく実施する

(6) 委員会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌18巻1号に掲載する。

- ・編集委員会 学会雑誌17巻1, 2, 補刊号の発行
- ・普及委員会 Spring Conference 2022開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援。
- ・社会保険委員会 内保連との連携と医療保険制度の周知
- ・国際交流委員会 国際交流の支援
- ・選挙管理委員会 2021年度幹事会員選挙の実施

(7) 分科会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌18巻1号に掲載する。

- ・分科会の継続確認
- ・適切な助成の実施

第4議案 2021（令和3）年度（第11期）予算

第10期(2021年4月1日～2022年3月31日)の収支計画（キャッシュフローベース）は以下のとおり。

	科目	2020年度実績	予算増減	2021予算	予算コメント
事業収入	(1) 会費収入	5,452,000	1,978,000	7,430,000	
	幹事会員会費 当年度分	295,000	154,000	450,000	30人×15,000円
	正会員会費 当年度分	4,016,000	1,484,000	5,500,000	550人×10,000円
	学生会員会費 当年度分	88,000	12,000	100,000	25人×4,000円
	購読会員会費 当年度分	32,000	28,000	60,000	4人×15,000円
	賛助会員会費 当年度分	540,000	460,000	1,000,000	20社×50,000円
	会費 過年度分	480,000	-160,000	320,000	経べ40人×8,000円
	(2) 参加費収入	-	1,200,000	1,200,000	
	役員研修会参加費	-	-	-	開催なし
	Spring Conference参加費	-	1,200,000	1,200,000	150人×8,000円
	ランチョンセミナー参加費	-	-	-	
	国際ワークショップ参加費	-	-	-	
	(3) 国際交流事業収入	-	-	-	
	ASEAN Forum開催費	-	-	-	
	(4) 学会誌事業収入	258,925	53,075	312,000	
	学会誌別刷作成	-	-	-	
	J T T A 論文掲載料	200,000	50,000	250,000	経べ25人×10,000円
	学会誌バックナンバー販売	57,000	3,000	60,000	6000円×10冊
	広告費	-	-	-	
	その他販売	-	-	-	
	著作権使用料	1,925	75	2,000	医中誌等
(5) その他収入	2,000,571	299,449	2,300,020		
受取利息	21	-1	20		
貸付金戻入れ	-	2,000,000	2,000,000		
米子基金から振替	2,000,550	-2,000,550	-		
その他収入	-	-	-		
寄付金受け入れ	-	-	-		
学術大会準備金戻入れ	-	300,000	300,000	JTTA2021/30万円	
当期事業収入合計	7,711,511	3,530,524	11,242,020		
事業支出	(1) 事業費	1,833,571	1,404,529	2,830,000	
	分科会活動助成金	27,221	172,779	200,000	4分科会×5万円
	役員研修会開催費	-	-	-	開催せず
	Spring Conference開催費	1,195,850	4,150	1,200,000	講師謝金・会場費・運営費・抄録集印刷費等
	国際ワークショップ開催費	-	-	-	開催せず
	委員会活動費	-	100,000	100,000	各種委員会会費
	広報活動費	114,400	315,600	430,000	HP維持費13万円、HPリニューアル30万円
	会議費	88,000	212,000	300,000	総会・理事会・運営委員会等会場費、運営費、通信費
	国際交流費	-	600,000	600,000	ISfTeH役員会派遣費(2人×30万円)
	市民活動助成費	-	-	-	
	運営謝金	-	-	-	
	運営旅費	-	-	-	
	(2) 学会誌事業支出	1,586,409	2,626,491	4,621,000	
	機関誌印刷費	1,586,409	1,834,591	3,421,000	17巻各700冊1号1,0千円2号2,0千円3号1,0千円+16(補)621千円
	論文寄稿支援業務費	408,100	291,900	700,000	論文寄稿業務支援委託等
	論文投稿受付システム費	-	500,000	500,000	論文投稿受付システム開発運用
	論文別刷印刷費	-	-	-	
	(3) 加盟費	354,208	5,792	430,000	
	内保連等年会費	200,000	-	270,000	内保連20万円、看保連7万円
	基礎推進学術ネットワーク年会費	100,000	-	100,000	
	ISfTeH年会費	54,208	5,792	60,000	500USD×120JPY/USD
	(4) 管理費	1,010,390	539,610	1,550,000	
	事務局人件費	-	250,000	250,000	アルバイト
	事務局業務委託費	35,200	44,800	80,000	学会誌等発送業務委託 2万円×4回
	福利厚生費	-	-	-	
	国内旅費	-	50,000	50,000	
	海外旅費	-	-	-	
	運搬通信費	351,719	128,281	480,000	選挙・請求書郵便20万円、電話4万円、ヤマト運輸24万円
	手数料	10,708	19,292	30,000	
	消耗品費	255,163	44,837	300,000	封筒・請求書用紙他
	備品費	-	-	-	
	税理士報酬	330,000	-	330,000	30万円+税
	雑費	27,600	2,400	30,000	
(5) 租税公課	-	-	-		
租税公課	-	-	-		
(6) その他の支出	3,380,528	600,000	2,600,000		
学術大会準備金	-	600,000	600,000	JTTA2021/30万円、JTTA2022/30万円	
貸付金払出し	2,000,000	-	-		
米子基金へ振替	1,380,528	-	2,000,000		
寄付	-	-	-		
当期事業支出合計	8,165,106	3,865,894	12,031,000		
当期事業収入合計	7,711,511	3,530,524	11,242,020		
当期事業支出合計	8,165,106	3,865,894	12,031,000		
当期事業収支	-453,595	-335,370	-788,980		

予算編成の要点は以下の通り。

(1) 収入について

- ・正会員会費 会費を納入する正会員は、550 人と見込む。
- ・賛助会員会費 賛助会員は1社増の20社と見込む。

(2) 支出について

- ・国際交流費 近藤会長の ISfTeH 役員就任に伴い、年1回のFTF会議が予定されている。補助者を含め2名×1回の旅費60万円を計上した。
- ・機関誌印刷費 2020年度発行予定の16巻補刊号が2021年4月に伸びたため、キャッシュフローベースでは62万円余が今年度の支払いに繰り越された。
- ・論文査読支援業務費 編集委員会負荷軽減のため、論文査読の支援業務外注化費用として70万円を計上した。
- ・論文投稿受付システム費 編集委員会では、論文投稿受付システムの導入を目指して検討を進めており、その開発費として50万円を計上した。
- ・運搬通信費および消耗品費 幹事会員選挙実施のため、昨年度より増額を図った。

(3) 事業収支について

- ・キャッシュフローベースでは約79万円の赤字となるが、16巻補刊号印刷費や論文投稿システム開発費など臨時支出を考慮すると、基礎収支は黒字基調を確保できる。

第5号議案 理事選任の件

以下の10人（五十音順）を、理事候補として、提案する。

氏名	所属	生年
笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	1963年
黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック	1957年
郡 隆之	利根中央病院	1969年
近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	1956年
佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ	1982年
鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部	1967年
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部	1951年
長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会	1956年
本間 聡起	埼玉メディカルセンター・健康管理センター	1959年
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野	1959年

以上。